



美しい 県土づくりNEWS

2016年
8月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第145号
平成28年9月1日発行
編集 県土整備企画室



希望郷
希望郷

いわて国体
いわて大会

いわて国体は10/1から(水泳競技9/4~)、いわて大会は10/22から開催されます

目次

- 2 高田松原地区現場見学会を開催しました！
- 4 道路情報提供サービス スマートフォン向けページ公開！！
- 5 いわて道路ボランティアクラブ道路施設を点検
- 6 道路愛護団体等への感謝状伝達式を行いました！
- 7 「森と湖に親しむ旬間」イベントを開催しました！
- 9 釜石港で「国際フィーダーコンテナ定期航路開設5周年記念式典」が開催されました
- 11 宮古・室蘭フェリー航路開設セミナーが開催されました
- 12 盛岡さんさ踊り いわて花巻空港 PR 隊がパレードに参加！
- 13 学校では受けられない授業 in 伊丹空港を開催しました！！
- 14 いわて花巻空港「スカイフェスタ2016」のご案内
- 15 『国体おもてなしロード環境整備事業』を進めています！！
- 16 県土整備部の職場紹介 ～都市計画課～
- 17 県土整備部の職場紹介 ～沿岸広域振興局土木部～

台風10号による災害発生 早期復旧に向け取り組みます

8月30日に岩手県大船渡市付近へ上陸し県内を通過した台風10号により、県内各地で記録的な大雨が発生し、河川の氾濫等によって県内全域に甚大な被害が発生しました。災害により命を落とされた方の御冥福をお祈りするとともに、家屋等に被害を受けられた方へお見舞いを申し上げます。

8月31日現在、県では、災害対策本部を設置し、被害状況の把握や、復旧に向けた対応に努めているところです。

被害の状況や、今後の復旧等の対応につきましては、次号以降にお知らせしていく予定です。

なお、道路の通行規制状況等の情報については、岩手県道路情報提供サービス (<http://www.douro.com/>) でご覧いただくことができます。



鵜住居川の氾濫により流出した市道上栗林橋(8月30日時点)



増水した久慈川(8月31日時点)

高田松原地区現場見学会を開催しました！

沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター

県では、東日本大震災津波により大きな被害を受けた陸前高田市高田松原地区において、防潮堤の復旧、砂浜の再生、気仙川水門の整備などを行っています。今回、これらの進捗状況を広く市民、県民に知っていただくことを目的に、8月6日に現場見学会を開催しました。

一般の方を対象とした現場見学会は、昨年10月、12月に続いて3回目です。当日は、快晴の下、78名の方々が参加し、高田松原地区で行われている各工事の進捗を確認しました。見学会後のアンケートでは、高田松原再生への期待や工事関係者への御礼などが寄せられました。

- 被災前のように陸前高田市民のみならず岩手県民全体に親しまれ、県民の誇りとなるような高田松原と砂浜の再生を願っております。(北上市 60歳代 男性)
- まだ海側には来られないという方もいますが、ぜひ地元の方が行きたいと思える場所になってほしいです。(陸前高田市 30歳代 女性)
- 私たちの街づくりにこんなに多くの方が携わり、試行錯誤しながら作業を進めていることに感動しました。私たちも頑張らないと・・・と強く思いました。(陸前高田市 50歳代 女性)

今後も、現場見学会等を通じて事業進捗の発信に努めていきます。

見学会で説明した各事業の状況、見学会の様子は次のとおりです。

高田地区海岸災害復旧事業

高田地区海岸災害復旧事業では、防潮堤（第1線堤、第2線堤）、人工リーフ、浜田川水門等の復旧工事を行っています。第2線堤は、数十年から百数十年に発生が見込まれる津波に対応するT.P.+12.5mの高さで復旧を行っています。(T.P.±0m：東京湾平均海面)

見学会では、完成断面となった第2線堤に上り、広田湾と古川沼を眺めながら進捗状況の確認を行いました。また、昨年の見学会で参加者が想いを込めたメッセージブロックの紹介や、受注者が防潮堤のきれいな曲線を描くために試行錯誤した1/30スケールの模型の展示も行いました。模型に使用したブロックは、その役目を終えたので、見学会参加者にプレゼントしました。



第2線堤上で事業概要の説明を聞く参加者



1/30スケールの模型展示

高田地区海岸砂浜再生事業

震災前の高田松原は、約 17 万人（H22 入込客数）が訪れる県内でも有数の海水浴場でした。県では、震災により消失した砂浜の再生を目指して、人工的に砂を投入する養浜工による砂浜再生事業に取り組んでいます。

全国的にも珍しい大規模な養浜工となることから、昨年 11 月から延長 200m 区間で試験施工を行ってきました。見学会では、砂の投入が完了したばかりの砂浜を歩いてもらいました。参加者の皆さんは、砂浜に寄せる波の音を聞きながら、海水浴で遊んだ思い出話をしたり、砂の感触を確かめたりとそれぞれの時間を過ごされていました。



一般の方が初めて入った試験施工中の砂浜

気仙川災害復旧事業（気仙川水門）

震災後の気仙川災害復旧事業の検討にあたっては、堤防嵩上げと水門を工法比較した結果、景観・生活環境への影響、経済性などを総合的に判断し、水門方式を採用しました。現在は、右岸側の第 1 期工事が完了し、第 2 期工事に向けて左岸側の締切作業を行っています。

見学会では、水門管理橋の上で、水門の仕組みや設計上の工夫などの説明をしました。また、水門管理橋に参加者のメッセージを記載できるスペースを設けたところ、「津波に立ち向かって市内への浸入を防いでください」という水門への期待や、「鮭さん忘れずに帰ってきてね」など鮭の遡上を心待ちにするメッセージもありました。（メッセージは水門完成後も残りますが、舗装の下に隠れるため見えなくなります。）



管理橋の上から水門の仕組みを確認



子供たちも水門管理橋へメッセージ

岩手県道路情報提供サービス スマートフォン向けページ公開!!

道路環境課

県内の交通規制情報や路面監視カメラ画像を公開しているウェブサイト「岩手県道路情報提供サービス」について、スマートフォン向けページを8月10日（水）（道の日）から公開しました。交通規制情報や路面監視カメラなどの道路関連情報を一元的に提供するのは全国でも先進的な取組です。

◆ 特徴

- ① 直感的な操作を可能にするためのアイコンやタッチボタンの配置
- ② 「地図から探す」や「エリアから探す」、「通行規制種別」など様々な利用者の視点や用途を考慮した道路情報検索機能
- ③ 「わんこきょうだい」を配置した親しみやすいデザイン



トップページ



エリアから探すページ



規制情報表示例



路面監視カメラ画像

◆ アクセス方法

スマートフォンをお持ちの方は下記 URL からアクセスして頂くか、右の QR コードを読み込むことでアクセスが出来ますので、是非一度ご覧下さい。

スマートフォン向けページ URL : <http://www.douro.com/sp/>



QR コード

※ 岩手県道路情報提供サービスについて (<http://www.douro.com/>)

安全な道路利用に役立てていただくため、平成 10 年度から路面監視カメラ画像を公開し、平成 15 年度に通行規制情報、平成 16 年度に雪情報に関する情報提供を開始しています。

いわて道路ボランティアクラブ 道路施設を点検

道路環境課



いわて道路ボランティアクラブは、県土整備部など土木行政関連部局で職務経験のあるOB約120名で組織された、道路に関するプロ集団です。道路管理者に対して、道路の路面や法面、構造物などの異常や不法占用などについての情報提供や、道路利用者の視点から安全で快適な道路についての提案など、県の道路行政を支援する活動を行っています。

いわて道路ボランティアクラブによる道路施設の点検は、平成16年度に始まり、毎年実施されています。今回は国体の総合開・閉会式の会場となる北上土木センター管内について、7月13日（水）、8班に分かれて総延長約260kmを徒歩により点検していただきました。



法面及び落石防護施設の点検



ガードレール損傷の指摘

長大法面や重要構造物、排水施設等を重点的に点検いただいた結果、落石防護柵のワイヤーの外れや排水施設異常、ガードレールの損傷など34箇所の異常が確認されました。この結果は、報告書として取りまとめられ、北上土木センターに報告されました。



北上土木センター所長が報告書を受領



道路愛護団体等への 感謝状伝達式を行いました！

道路環境課

国では毎年、道路の安全と正しい利用を促進するため、道路環境の美化に多年にわたり功績のあった個人又は団体に対し、感謝状を贈り表彰しています。

今年度は本県から4団体が表彰され、そのうち県管理道路に関する活動を行っている以下3団体に対し、8月24日に盛岡市のエスポワールいわてにおいて、及川県土整備部長から感謝状を伝達しました。

◆ 国土交通大臣表彰 受賞団体 ◆

◇ 相去地区道路愛護会（北上市）

昭和52年から、道路清掃や草刈り等を行う地区一斉活動を年3回実施しているほか、花壇整備やごみ拾い等の活動を随時行っています。また、活動範囲内には、北上マラソン大会のコースも含まれており、観光客の散策路美化にも多大な貢献をしています。平成15年の岩手県知事表彰受賞後も継続して活動しています。

◇ 横川目地区道路愛護会（北上市）

平成6年から、9つの行政区で構成される横川目地区を中心に、散策路の草刈りやごみ拾い、花壇整備等を行っています。また、活動範囲内には、奥羽横断駅伝競走大会のコースがあり、定期的に一斉活動を行い、安心安全な道路交通の推進に貢献しています。平成15年の岩手県知事表彰受賞後も継続して活動しています。

◇ 鹿島行政区（九戸郡九戸村）

平成3年から、地区内の全世帯で毎年定期的に花壇整備を行い、道路の美化や地域の親睦に力を入れており、色鮮やかな花壇は、地域を彩り通行する人々に癒しを与えています。そのほか、地区内の道路及び河川美化活動にも努め他の模範となっています。



道路愛護活動に取り組まれている皆様、いつもありがとうございます！

「森と湖に親しむ旬間」イベントを開催しました！

河川課

今年も県内各地のダム周辺で『森と湖に親しむ旬間』（毎年7月21日から31日まで）の関連イベントが開催され、沢山の家族連れや地域の方々にご参加いただき、大いににぎわいました。県営7ダムについて、その模様をお知らせします。

入畑ダム（北上市） 「遊・YOU・入畑・2016！」 開催日：平成28年7月23日（土）



湖面パトロール

天候に恵まれ、昨年より多くの方に訪れていただきました。ダム湖を一周する湖面パトロールと西和賀キッチンカーのソフトクリームは、特に大好評でした。

<実施内容>

ダム施設一般公開、湖面パトロール、木工教室、四会場スタンプラリー、ダムライトアップ 他

<参加人数>

549名（全4会場合計）

日向ダム（釜石市） 「日向ダム湖畔の集い」 開催日：平成28年7月23日（土）



ダム施設一般公開

各イベントとも、多くの親子連れに参加していただきました。ダム施設一般公開では、約500段の階段に苦戦しつつも、ダムの構造や役割について楽しく学んでいました。

<実施内容>

ダム施設一般公開、魚のつかみ取り、木工教室、湖面パトロール 他

<参加人数>

463名

綱取ダム（盛岡市） 「森と湖 in 綱取」2016！ 開催日：平成28年7月27日（水）



植物観察と森林浴

時折小雨の降る中での開催となりましたが、各イベントとも盛況でした。スタンプラリーには沢山の親子連れが挑戦し、ダム周辺を散策しながら風景を楽しんでいました。

<実施内容>

植物観察と森林浴、ダム施設見学会、湖面パトロール、木工教室、魚のつかみ取り 他

<参加人数>

192名

早池峰ダム（花巻市） 「早池峰ダム」森と湖に親しむ子どもまつり 開催日：平成28年7月28日（木）



魚のつかみ取り

あいにくの天気でしたが、どのイベントも盛況でした。特に人気だった魚のつかみ取りでは、コツを掴んだ子供たちが次々とヤマメを捕まえていました。

<実施内容>

ダム・発電所施設の公開、湖面パトロール、木工細工教室、魚のつかみ取り、ダムライトアップ 他

<参加人数>

142名

鷹生ダム（大船渡市） 五葉湖畔の集い「げんきです！水と緑の鷹生ダム」 開催日：平成28年7月31日（日）



気仙スギ積み木競争

鷹生ダム10周年の今年は、地元団体のパフォーマンスや消防の訓練など沢山のイベントを実施しました。天候にも恵まれ、幅広い年代の方に楽しんでいただけました。

<実施内容>

ダム施設見学、グラウンドゴルフ大会、クップ体験、気仙スギ積み木競争、湖面パトロール 他

<参加人数>

664名

滝ダム（久慈市） 久慈・長内川の「滝ダム学習」と「川まつり」 開催日：平成28年8月7日（日）



流しそうめん（川まつり）

梅雨明け直後の晴天のもと、多くの方に楽しんでいただけました。カヌー・カヤック体験や浮き輪レースなどを通じて、子供たちは水に親しんでいました。

<実施内容>

ダム施設見学、滝発電所公開、カヌー・カヤック体験、魚のつかみ取り 流しそうめん 他

※ダム施設見学は7月30日（土）開催

<参加人数>

滝ダム学習：21名、川まつり：900名

遠野第二ダム（遠野市） 森と湖に親しむ「遠野第二ダム」の集い・2016 開催日：平成28年8月7日（日）



ダム施設見学

地元の子供たちを中心に、昨年より多くの方に参加していただきました。建設重機を一筆で描く「ひとふでんず」や湖面パトロールなどを楽しんでいました。

<実施内容>

ダム施設見学、ひとふでんず、湖面パトロール、木工教室 他

<参加人数>

53名

釜石港で「国際フィーダーコンテナ定期航路開設 5周年記念式典」が開催されました

沿岸広域振興局土木部



平成 28 年 8 月 1 日、釜石港の国際フィーダーコンテナ定期航路※が開設から 5 周年を迎え、記念式典が催されました。

式典は、釜石市長による挨拶のほか、コンテナ航路を開設した O O C L (※後述) 日本代表及び井本商運株式会社社長から挨拶をいただき、くす玉開花、記念品贈呈等が行われました。

※国際フィーダーコンテナ定期航路 (釜石港の場合)
京浜港から海外へ運航するメイン航路へ接続するため、京浜港と釜石港の間を繋ぐ国内を運航する支線航路。

1 国際フィーダーコンテナ定期航路の開設へ

定期航路が開設されたのは、東日本大震災津波から間もない平成 23 年 7 月でした。世界的海運会社「**オリент・オーバーシーズ・コンテナ・ライン・リミテッド (OOCL)**」と、国際フィーダーコンテナ輸送国内最大手「**井本商運株式会社**」により、「**京浜港**」と「**釜石港**」を結ぶ**国際フィーダーコンテナ定期航路**が、被災沿岸部に暮らす“みんなの思いを乗せて”、産声を上げました。

震災直後、壊滅的な被害を受けた釜石港では、連日、海上と陸上の啓開活動が行われました。また、明日が見えない状況の中で、コンテナ荷役機械の復旧工事に全力を尽くしてきました。

そして、**震災からわずか 4 日後の 3 月 15 日に県内港湾の中で最も早く入港体制が確保**され、翌 16 日には、救援物資を積んだ第 1 船が釜石港に入港しました。

その後、釜石市は、同年 5 月に多目的クレーン、6 月にはストラドルキャリアの稼動を再開させましたが、このような活動が海運会社の目にとまり、定期航路の開設に至りました。



OOCLの国際ネットワーク

資料: OOCL



多目的クレーン



ストラドルキャリア

写真: 釜石市

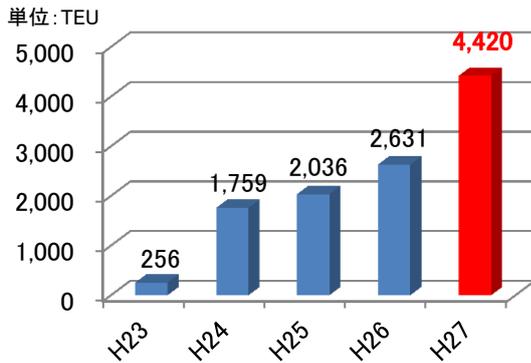
写真: 釜石市

2 今後の釜石港

釜石港のコンテナ取扱量は年々上昇を続け、航路を開設した平成23年は256TEU*の取り扱いしかなかったものが、平成27年には県内各港の過去最高記録を上回る**4,420TEU**を記録しました。

またコンテナ物流は、被災した沿岸地域の復興はもとより、地域経済の発展を支える重要な物流資源であることから、今後ますますコンテナ定期航路の重要性が高まりを見せていくものと考えています。

釜石港コンテナ取扱量



※TEU

コンテナを数える単位で、20フィートコンテナ1個を1TEUと表示。
国内では他に40フィートコンテナが存在し、40フィートコンテナ1個は2TEU。



ガントリークレーン(イメージ図)

このようなことを背景に、県では、**現在の多目的クレーンより処理能力の高いガントリークレーンを導入**するための準備を進めています。

ガントリークレーンは、平成29年度の早い時期に稼働できるよう整備を進めていますが、県としてもこの好機を逃すことなく、関係機関とともにコンテナの集荷・創荷に努めていきます。

平成29年度 岩手県釜石港でガントリークレーンが稼働します

☆釜石港周辺の自動車専用道路は無料で利用可能です!
 (例えば、北上南側工業団地から近隣主要港までの走行時間、高速料金を比較すると...)

仙台港: 100分(130km)、9,830円(仙台港IC)
 八戸港: 130分(180km)、11,400円(八戸IC)
 秋田港: 120分(130km)、8,040円(秋田南IC)
釜石港: 100分(90km)、0円(釜石)

☆24時間365日、荷役が可能(要相談)
 ☆リーファーコンテナ58個に対応(平成29年度より利用可能)
 ☆コンテナ取扱いに對し報奨制度を準備
 ☆京浜港へのフィーダー定期航路を保有
 ☆中国・韓国向けダイレクト航路が開航(予定)

機名	タイプ	水高11m、幅員190m
ガントリークレーン	1機	ポンチキ130×40機(予定)
Bクレーン	1機	ポンチキ 60×20機
ストロムリキヤア	2機	40機
ヤード(ドック)	72TEU	24TEU×3機
ヤード(リーファー)	115TEU	30×38機(2機)

(お問い合わせ先はこちら)
 釜石港 岩手県産業振興局土木部 〒026-0043 釜石県釜石市南町6番50号 TEL.0193-25-2714
 釜石市 産業振興局港湾課 〒026-8686 釜石県釜石市日野町3丁目2番1号 TEL.0193-22-2111



写真: 山九株式会社

釜石港に寄港しているコンテナ船『公龍丸』
190TEUのコンテナを積載可能



写真: 日本商運株式会社

ガントリークレーン導入後に寄港が期待されるコンテナ船『なとり』
540TEUの積載能力を持ち、フィーダーコンテナ船では国内最大級

チラシで釜石港をPR

宮古・室蘭フェリー航路開設セミナーが開催されました

港湾課

平成 28 年 8 月 6 日（土）、宮古市民文化会館において、宮古・室蘭フェリー航路開設セミナーが開催されました。

セミナーでは、フェリーを運航する川崎近海汽船(株)常務取締役の寅谷剛様から、「北海道発着フェリーの現状と宮古・室蘭航路の展望について」、フェリーの就航先である室蘭市総務課主幹本野泰伸様から「室蘭ってどんなまち？～室蘭の魅力を知ろう～」という演題で、室蘭市の観光や物産の魅力について紹介いただきました。

寅谷常務取締役からは、**宮古発の想定貨物は、通販の利用に伴う宅配貨物や冷凍食品、野菜**などであり、**室蘭側からは活牛業者からの期待**が大きいという説明がありました。

団体客については、北海道内の中学校が岩手県内を検討し始めているとして、**修学旅行の利用に期待**を示しました。

また、3年後には、新造船にリプレイスして、**片道 10 時間から 9 時間に高速化**したいこと、などの説明がありました。

平成 30 年に、フェリーは一日一便でスタートしますが、時期は明言できないが、将来的に朝夕 2 便体制に増強したいとし、そのためには、早い時期に安定需要を確保することが肝要で、復興道路の全線開通が大きなポイントになると指摘しています。

次に、札幌大学の千葉博正教授をコーディネーターに、岩手大学の今井潤教授、岩手県トラック協会会長高橋嘉信様、岩手県旅行業協会理事成ヶ澤亨様、室蘭商工会議所副会頭松永英樹様、宮古商工会議所会頭花坂康太郎様の 5 人のパネラーの方々から、**トラックドライバーの人材育成や外国人旅行者の受け入れなどの課題について意見交換**が行われました。

新しいインフラができることにより、**各産業に可能性**が出てくること、**多様性を持った産業構造**になることへの期待が表明されました。

岩手県としても、平成 30 年 6 月のフェリー定期航路開設に必要なフェリーターミナル等の施設整備を着実に実施するとともに、宮古市及び宮古港フェリー利用促進協議会と連携して、フェリーの利用促進に取り組んでいきます。



川崎近海汽船(株) 寅谷常務取締役 様



室蘭市総務課 本野主幹 様



パネルディスカッションの様子

盛岡さんさ踊り2016

いわて花巻空港 PR 隊がパレードに参加！

空港課

8月1日(月)盛岡さんさ踊り2016に、いわて花巻空港PR隊(日本航空、ジェイエア、フジドリームエアラインズ、日本通運、岩手県空港ターミナルビル及び岩手県)がパレードに参加し、いわて花巻空港の利用促進をPRしました。



左から順に

【フジドリームエアラインズ】藤澤隆雄支店長、久保秀人専務取締役、【岩手県県土整備部】平野直副部長、
【株式会社ジェイエア】大貫哲也代表取締役社長、【日本航空株式会社】柏頼之執行役員

学校では受けられない授業in伊丹空港を開催しました！！

空港課

8月2日(火)岩手県内の中学生14名が参加し授業スタート！

8月2日(火)、大阪国際空港(伊丹空港)で、「学校では受けられない授業in伊丹空港」を開催し、県内各地から中学生14名が参加しました。

この取組は、岩手の将来を担う子ども達へ「空の仕事」の就業体験を提供するため、岩手県空港利用促進協議会主催、日本航空(株)・(株)ジェイエアの協力により行っているものです。



空港の業務や飛行機のことに関する知識など、様々な授業を体験！



花巻から伊丹行き
の定期便に
実際に搭乗し伊丹
空港へ



パイロットと一緒に
飛行ルートの天候
を真剣に確認



お待ちかねの昼食
で笑顔



キャビンアテンダント
の機内アナウンスに
挑戦！



間近で見る機体は
思った以上の迫力！

いわて花巻空港

「スカイフェスタ2016」のご案内

空港課

スカイフェスタは航空機や空港で使用する特殊車両に間近で触れ合える

年に1度の貴重な機会です。皆様お誘いあわせの上、是非ご来場ください！

いわて花巻空港
スカイフェスタ
SKY FESTA in IWATE HANAMAKI
2016

開催日 **9月22日(木)**
※小雨決行
10:00から15:30まで
会場 / いわて花巻空港 ウェストエプロン地区

会場はこちら側

当日イベント (主なイベント)

- 防災ヘリによる救助デモンストレーション
- 化学消防車による放水デモンストレーション
- 消防体験コーナー (乗車、着せ替え等の体験)
- 出店コーナー (航空関連グッズ、食べ物等の屋台)
- 管制塔・気象室見学【※事前応募制】
- フェスタ限定小型機遊覧飛行【※事前応募制】

SKY FESTA 2016 サブイベント
花巻空港バックヤードツアー!!

- 日時: **9月25日** 12:00受付 15:00終了予定
- 内容: 航空教室・バスからの滑走路見学等
【※事前応募制】 ●対象: 小学4年生~中学3年生

※当日は駐車場が混みあいますので、公共交通機関をご利用ください。
※当日の天候や主催者の都合によりイベント内容が変更になる場合があります。

事前応募のイベントは、定員になり次第、締め切りとさせていただきます。
応募方法、イベント詳細等は、ホームページをご参照ください。

若手県 スカイフェスタ

お問い合わせ先: 花巻空港事務所(事務局) TEL: 0198-26-2016 E-mail: CP0003@pref.iwate.jp

日時: 9月22日(木)

会場: いわて花巻空港

ウェストエプロン地区

当日の主なイベント

- 防災ヘリによる救助デモンストレーション
- 化学消防車による放水デモンストレーション
- 消防体験コーナー
- 出店コーナー

お問合せ先: 花巻空港事務所

電話 0198-26-2016

『国体おもてなしロード環境整備事業』を進めています！！



盛岡広域振興局土木部
県南広域振興局土木部

『国体おもてなしロード環境整備事業』とは??

国体競技会場への主要アクセス道路等における、国体マスコットの活用による機運醸成事業です。主な取組の一つとして、視線誘導標に国体マスコットシールの貼付を地域住民とともに実施し、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会開催への盛り上がり、雰囲気醸成に寄与していきます。

県内各地で地域の皆様と貼付作業を進めています！！

- 盛岡市繫地区 ((一) 盛岡鶯宿温泉線) ○紫波町稲藤地区 ((一) 紫波インター線)



H28.7.25 実施



H28.7.31 実施



- 花巻空港ターミナルビル(株)職員ほか ((一) 東宮野目二枚橋線)
- (一社) 岩手県建設業協会千厩支部ほか (国道 284 号ほか)



H28.8.4 実施



H28.8.8 実施

- 遠野市綾織町地域づくり連絡協議会 (国道 283 号ほか)
- 八幡平市建設協同組合ほか (国道 282 号ほか)



H28.7.31 実施



H28.8.10 実施



- (一社) 岩手県建設業協会北上支部ほか (国道 107 号ほか)
- (一社) 岩手県建設業協会一関支部ほか (国道 342 号ほか)



H28.8.10 実施



H28.8.10 実施

県土整備部の職場紹介 No.6 都市計画課

県土整備部は、「県民から信頼される県土づくり」を目指して、各室課がそれぞれの役割を果たしています。各室課が取り組む課題や業務を毎月ご紹介します。

組織の概要

県内に 21 ある都市計画区域における都市計画の内容及びその決定手続に関する事務を行うとともに、街路、公園等の整備、景観形成の推進を実施しています。また、東日本大震災津波により被災した市街地の早期復興に向け、市町村が実施する復興まちづくり事業に必要な都市計画手続や支援等を行っています。

管理開発担当

管理開発担当では、県立都市公園の管理に関する事務、都市計画法の規定に基づく開発行為の許可に関する事務等を行っています。県立都市公園は、御所湖広域公園、花巻広域公園及び内丸緑地の3公園を管理しています。また、開発行為の許可により、無秩序な市街地の防止と良好な市街地の計画的かつ段階的な整備を図っています。



計画整備担当

大勢の人が集まり、働き、学び、生活する“まち”において、快適で暮らしやすく、商業・産業活動等が活発に行われるためには、土地利用に関するルールや道路・公園などの計画的な整備が必要となります。

計画整備担当では、将来のまちづくりに関する計画策定や街路・公園等の都市基盤の整備を行っています。また、東日本大震災津波の犠牲者を追悼・鎮魂し、震災の経験や教訓を継承するための高田松原津波復興祈念公園の整備を進めています。



まちづくり担当

まちづくり担当では、被災沿岸市町村が東日本大震災津波からの復興を実現するために実施している復興土地区画整理事業、防災集団移転促進事業及び津波復興拠点事業の事業推進を支援しています。

また、これからの安定・成熟した都市型社会の中で、地域の特性を活かしたまちづくりを実現するため、景観施策の促進、屋外広告物規制の普及啓発、市町村が実施する都市再生事業等を支援しています。



県土整備部の職場紹介 No.7 沿岸広域振興局土木部



地域概要

所管区域は、釜石市、大槌町の1市1町で、ともに三陸復興国立公園のほぼ中央に位置し、四季を通じて温暖な気候に恵まれています。**釜石市**は、「鉄とラグビーのまち」として全国的に知られ、2019年開催のラグビーW杯開催都市の一つとなっています。また**大槌町**は、古くより漁業が町の中心産業であり、なかでも新巻鮭（あらまきざけ）を全国的に広めた地域としても知られています。

両市町とも、東日本大震災津波により甚大な被害を受け、**現在、区画整理事業や防災集団移転促進事業、災害公営住宅整備等の復興まちづくりに取り組んでいます。**

当部では、通常の道路管理及び河川・ダム管理とともに、復興まちづくりと連携しながら、道路整備や防潮堤・水門整備を進めています。

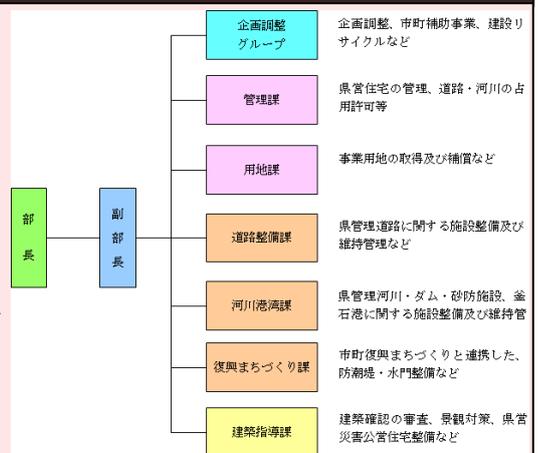
組織体制

○平成28年度組織キャッチフレーズ

フットワーク・ネットワーク・チームワーク 成し遂げるぞ復興!

○組織の特徴

組織は部長、副部長以下6課で構成され、職員数は、**正職員29名**、全国から派遣された**応援職員14名**（東京都6、静岡県6、福岡2）、**任期付職員14名**（秋田県1、茨城県1、栃木県1、東京都1、静岡県1、福岡県1、大阪府1、鹿児島県1、県内6）の**総勢57名**の体制となっています。組織の約半数が他県からの応援・任期付職員ということもあってか、職場はいつも明るく、にぎやかな雰囲気です。



今年度の主な取組

1. まちづくりと連携した防潮堤・水門整備

河川の河口部及び海岸の背後で進められている、区画整理事業等の復興まちづくりと連携して、防潮堤・水門の整備を進めています。（大槌川水門、小釜川水門、鶴住居川水門、甲子川水門、小白浜水門、片岸海岸防潮堤 計6か所）。

現在、各現場では**施工が本格化**しています。今後は各地域の皆様向けの現場見学会を開催していく予定です。

建設中の鶴住居川水門（H28.8.3）



建設中の片岸海岸防潮堤（H28.8.3）



2. 災害公営住宅の整備

東日本大震災津波により住宅を失った被災者の居住の安定を図るため、管内市町と協力しながら、災害公営住宅を整備しています。釜石管内では、**856戸を整備する予定**で、平成27年度までに**397戸(46%)が完成**しています。(H27未迄完成地区 釜石市3地区【平田、野田、日向】大槌町3地区【吉里吉里、屋敷前、柁内】) 今後は、市町が進める区画整理事業等の宅地整備と調整しながら整備を進めていきます。

釜石市 平田地区災害公営住宅 (H26.1完成)



大槌町 屋敷前地区災害公営住宅 (H27.10完成)

3. 釜石港の物流機能強化 (ガントリークレーンの導入)

現在、釜石港のコンテナ取扱量は復興事業の影響もあり年々増加しています。今後も三陸沿岸道路、東北横断自動車道釜石秋田線の整備や中国・韓国へのダイレクト船の釜石港への寄港が予定されていることから、釜石港でのコンテナ取扱量が飛躍的に増大することが予想されます。

そのため、荷役の効率性・安全性を向上させるため、ガントリークレーン導入を計画し、今年度から事業着手、平成29年度には稼働する予定です。

ガントリークレーン (イメージ)



独自の取組等

1. 釜石地区復旧復興工事施工確保対策連絡調整会議

釜石地域における国、県、市町、業界団体等の関係機関・団体が情報を共有し、東日本大震災津波からの復旧・復興工事を円滑に進めるため、釜石地区復旧復興工事施工確保対策連絡調整会議を設置し、当部の復興まちづくり課が事務局としてその運営にあたっています。会議は年に数回開催し、コンクリートや砕石等の資材需給状況や復興事業に関わる様々な情報を共有しています。



平成28年8月8日開催の会議の様子

2. 岩手×東京 花のみちプロジェクト

東京都と(公財)東京都道路整備保全公社の支援により、復興支援に対し、感謝を伝え被災地の“いま”を情報発信するため、釜石市内3地区(大渡地区、鈴子地区、箱崎仮設住宅地区)で、花苗を育成し、育成した花苗の一部を、復興支援への感謝を込めて東京都に提供しています。提供した花苗は、東京都庁前花壇への定植会やイベントなどで展示されています。



平成28年6月12日 大渡町内会花苗定植会の様子